

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第272号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成21年11月7日 16時10分ごろ	
発生場所	東京都伊豆大島灯台から真方位332° 4,500m付近 (概位 北緯34° 50.0′ 東経139° 21.0′)	
事故等調査の経過	平成21年11月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 砂利・石材運搬船 第五 ^{だいにゅう} 大竜丸、436トン 船舶番号、船舶所有者等 131663、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船底外板に腐食破孔、左舷錨及び左舷錨鎖紛失	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、伊豆大島北方沖を航行中、平成21年11月7日16時10分ごろ、船底から浸水した。 本船は、漂泊して排水作業を行ったが、浸水量が多く危険を感じたので、両舷錨を海中に下ろした。その後、来援したタグボートにえい航され、大島岡田港へ入港して船底外板の仮修理を行った。	
その他の事項	本船は、両舷錨を海中に下ろした際、左舷錨鎖が根付部で切断し、左舷錨及び左舷錨鎖を紛失した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3 海象：うねり 約1m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 あり 不明 本船は、伊豆大島北方沖を航行中、左舷船底外板の腐食が進行して破孔を生じ、浸水したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が伊豆大島北方沖を航行中、左舷船底外板の腐食が進行して破孔を生じたため、浸水したことにより発生したものと考えられる。	